

# 英語科学習指導案

日 時 平成 23 年 11 月 15 日 (火) 5 校時  
展開学級 千葉市立緑町中学校 3 年 D 組  
展開場所 3 年 D 組教室  
授 業 者 秋元 茂

単元名 3 年 Lesson6 Gestures around the World

## 1 単元の目標

- (1) 「自分の～したい○○」というテーマを設定し、分かりやすく原稿を書いてスピーチする。
- (2) ペアワークやグループワークにおいて、間違えることを恐れず話す。
- (3) 関係代名詞目的格の that, which を用いた文の意味と構造を理解する。
- (4) 関係代名詞の省略された文の意味と構造を理解する。

本単元は、登場人物が世界のジェスチャーを例にしてスピーチをしている内容となっている。他の文化の身振りを知ることは、意外な驚きもあり、異文化理解の一環としても興味深いのではないかと思われる。また言語材料として、関係代名詞の目的格 which, that および関係代名詞がない形（接触節）を扱う。関係代名詞は「理解の段階にとどめること」となっているが、導入や練習、コミュニケーション活動を通じて理解させ、「書く」「話す」ところまで段階的に指導していく。「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」という 4 領域の活動をバランスよく系統的に行うなかで、活用できるところまで高めていきたい。したがって、関係代名詞を用いて人物や物を詳しく説明する表現を、コミュニケーション活動や教科書から学び、単元のまとめとして「自分の～したい○○」について書くことを目標とする。

## 2 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①積極的に聞いたり話したりしてコミュニケーション活動を行おうとする。 ②意欲的に英文作成を行い、スピーチを行おうとしている。	①関係代名詞を用いて、相手に分かりやすく書いたり、話したりしている。	①関係代名詞を含む英文の内容を理解している。	①関係代名詞目的格の which, that を用いた文の意味と構造を理解している。 ②関係代名詞の省略を用いた文の意味と構造を理解している。

(注)

・各観点の名称については、以下の記述の便宜上、

コミュニケーションへの関心・意欲・態度：ア 外国語表現の能力：イ  
外国語理解の能力：ウ 言語や文化についての知識・理解：エ  
とする。

### 3 指導と評価の計画（9時間）

時間	ねらい・学習活動	本課の評価基準との関連	評価方法
1	○関係代名詞（目的格）の which を用いた文の意味・構造を理解する。 ・関係代名詞の which を用いた文の構造を知る。 ・プリントを通して、which の使い方を理解する。 ・which を用いた文を使えるように練習する。	エの①	後日ペーパーテスト
2	○人やものを詳しくする時の表現を理解する。 ・教科書本文 L. 6A を通して、関係代名詞の目的格 which の使い方について理解する。 ・プリントを通して、教科書本文の内容を理解する。	ウの①	プリント
3 (本時)	○関係代名詞（目的格）の that を用いた文の意味・構造を理解する。 ・関係代名詞の that を用いた文の構造を知る。 ・プリントを通して、that の使い方を理解する。 ・that を用いた文を使えるように練習する。	エの①	後日ペーパーテスト
4	○人やものを詳しくする時の表現を理解する。 ・教科書本文 L. 6B を通して、関係代名詞の目的格 that の使い方について理解する。 ・プリントを通して、教科書本文の内容を理解する。	ウの①	プリント
5	○関係代名詞の省略を含む文の意味・構造を理解する。 ・関係代名詞の省略がある文の構造を知る。 ・プリントを通して、関係代名詞の省略について理解する。 ・関係代名詞の省略を用いた文を使えるように練習する。	エの②	後日ペーパーテスト
6	○人やものを詳しくする時の表現を理解する。 ・教科書本文 L. 6C を通して、関係代名詞の目的格 that の使い方について理解する。 ・プリントを通して、教科書本文の内容を理解する。	ウの①	プリント
7	○「自分の～したい○○」についてのスピーチ原稿を作成する。 ・具体例を参考に、スピーチ作成にあたっての表現を説明する。 ・個人で、「自分の尊敬する人」についての原稿を作成する。	イの①	活動の観察
8	○「自分～したい○○」についてのスピーチ発表練習をする。 ・ペアでスピーチ練習する。 ・グループでスピーチ練習する。	イの①	活動の観察
9	○「自分の～したい○○」についてのスピーチ発表をする。 ・グループでスピーチ練習する。 ・全体の前でスピーチする。	イの①	スピーチ発表

## 4 本時の指導（第3時）

### （1）本時の目標

- ① 関係代名詞（目的格の **that**）を含む文の意味と構造を理解する。さらに、“The place that I want to visit most is ○○○.” という英文を意欲的に作成する。（エの①）

### （2）展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	教材・教具・評価
Warm-up (10分) ペア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英語で挨拶し、簡単な対話をする。</li> <li>○ 特定のテーマに関して、即興スピーチを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになり、2つのトピックの中から1つ選び、1分間ずつ即興スピーチをする。</li> <li>・即興スピーチを聴きながら、マッピングをして、ペアが話したことを再現できるように準備する。</li> <li>・何人かがレポーターとして、ペアで話し合ったことをクラスに伝える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自然に英語を話せるように接する。</li> <li>・机間指導を行い、活動が滞りなく行われているか確認する。</li> <li>・スピーチの内容を的確にクラスの仲間に紹介できるように、情報をマッピングするように言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板</li> <li>・プリント</li> </ul>
導入 (24分) 一斉活動	<p>関係代名詞（目的格）を含む文の意味とその語順を理解しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係代名詞（目的格）の <b>that</b> を含む文を聞く。</li> <li>・絵や写真を見ながら、目標文の意味理解をする。</li> </ul> <p>（目標文）</p> <p>The place that △△ wants to visit most is □□□.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味の確認</li> <li>・目標文を注意深く聞き、口頭練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がもつ既習の知識を用いたり、絵を示しながら、わかりやすく目標文を口頭導入する。</li> <li>・目標文が正確に言えるようにするため、区切りを少しずつ長くしたり、スピードを段々速くしたりして、目標文を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 板書および説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に貼られたカードの語句を正しい順にして、ノートに書く。</li> <li>・指名された生徒は、黒板のカードを正しい語順に並べ替える。</li> <li>・本日のポイント説明を聞き、ノートまとめを行う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を行い、個別に助言をする。</li> <li>・早めに解き終わった生徒の解答を確認して、指名する。</li> <li>・分かりやすい言葉で解説する。</li> <li>・ポイントが分かりやすいよう板書を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板</li> <li>・評価① (活動の観察)</li> </ul>
個人・グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係代名詞(目的格)の <b>that</b> を含む文の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの問題の答えをノートに書く。グループごとに解き終えたところから、教師のチェックを受ける。</li> <li>・指名された生徒は、黒板に答えを書く。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えがわからなかった生徒は、グループの生徒から教わって答えを書いても良いとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> </ul>
展開 (8分) グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞の <b>that</b> を使って、自分の行きたい国・場所について話す活動をする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の仕方を分かりやすく説明する。</li> <li>・具体例を示し、活動の理解を早める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価① (活動の観察)</li> </ul>
まとめ (8分) 個人活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ライティング活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>The place that I want to visit most is ○○○.</b> というテーマで、英文を書き、理由を付け加える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を行い、優れた英文が出てきた場合には、生徒に紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価① (プリント)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつ <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声で挨拶をする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動によく取り組んだことを誉める。</li> </ul>	

### (3) 評価

- ① 関係代名詞(目的格の **that**)を含む文の意味と構造を理解できたか。さらに、“**The place that I want to visit most is ○○○.**”という英文を意欲的に作成できたか。